

独立行政法人国際協力機構北陸支部支部長賞

大きな地球と小さな、なまいき人間

七尾市立東部中学校 三年 板谷友紀子

私は地球に産まれました。人が産まれる確率は一億円の宝くじに百万回当たるくらいの奇跡だそうです。つまり今までに想像もできないくらいの奇跡が起きているということですよ。そしてたくさんの人達が「今」を生きていて同時にたくさんの人達が「今」を生きられなくなったり、捨てたりしています。

私はこの地球に産まれて良かったと心から思います。優しい家族、親しい友人、大好きなピアノを思いっきり弾けるのは、地球のおかげだと思っています。だから私はこれからも地球と共に生きていきたいです。

しかし、今なんと私達の手で地球を苦しめています。すごくとても、悲しいことです。

さらに、日本ではないけれど地球上で戦争までしています。なんてひどいんでしょうか？これでは、地球と共に生きるなんてできません。それでは私達はどうすればいいのでしょうか。TVや新聞、世界ではCO₂削減などともいわれています。私の家でもエアコンは二十八度設定だしおふろの水も有効に使ったりしています。しかし外の気温は暑くなる一方です。私の家で頑張っている他の家やはっているのでしょうか。聞いてみるとなんと二十三度や二十五度だそうです。私は目がいつもの2倍、口がぱっくり…という状態になりました。

二十三度なんてありえない。人間なんか最低だ。地球がどんどん海にうもれていく…。私はすごく切なかつたです。私がこんなに必死でも変わらないんだ。と思ってしまうました。

自分くらい、一人くらい、そんな弱い心に負けてしまう人間です。私達の本当のお母さんは地球だと私は思います。お母さんを痛めつけて、苦しくないのでしょうか…。

そして次に、戦争。争いなんて本当になんのためにかさっぱりわかりま

せん。

自分の国の力対決……あんなにみじめなことはありません。話しあえばいいじゃないですか。大切な命を簡単になくさないでほしい。産まれた奇跡をムダにしてほしくない。私は強く思っています。国全体が一つになるのは、難しいです。でも争う必要はありません。仲良くしてほしいけど、できないならお互いほっとけばいいんです。地球上で争いなんて、しないでください。

地球と共に生きるということはお母さんと生きるということだと思います。そう考えると、大切にしよう。と思いませんか？お母さんを苦しめたり、目の前で争ったりできますか？地球は優しいんです。大きくて暖かいんです。私達はちっぽけです。なまいきになんか言っています。でも、優しい心を必ず持っているんです。なぜなら私達のお母さんは大きくて優しい地球なんですから。